

# NEWSLETTER

No101619

統計学について述べました。

最近では統計に関する質問はほとんどありませんが、以前は「過去のデータをどこから取るのか。」といった質問を多くの方から受けました。

これからナンバーオペレーションを始める方に対しても「過去のデータは必要ありません。」と伝え  
ています。大事なことはマトリックスの数値/数値構造の数学的原理を正しくそして深く理解するこ  
とです。

過去のデータより現在の数値構造を御覧下さい。そして

過去のデータより、日々マトリックスとバリューチェーンの数字を観察することが大事です。そして、  
気づいたことをノートに記すといいでしょう。

どの数字に着目するのか。

F1~F6 は時間を表しています。

それぞれ原則として第 3 水曜日が expiry date (エクスパイアの日)です。

時間については F1 の月のエクスパイアまでの残り日数を確認しておきます。

そして F1 の数値の大きさを確認します。次に、F2 の数値をみます。同時に、 $F2 \wedge F1$  (F2 と F1 の数  
値の差:ペアナンバー)をみます。 $F2 \wedge F1$  の数値についての評価基準(同数の大小についてのモノ  
サシ)については理解されていると思います。

次に、F6 の数値をみます。

同時に、 $F6 \wedge F1$  (F6 と F1 の数値の差:ペアナンバー)をみます。 $F6 \wedge F1$  の数値についての評価基準  
(同数の大小についてのモノサシ)については理解されていると思います。

$F2 \wedge F1$  及び  $F6 \wedge F1$  のそれぞれの数値はマトリックスの構造の状態(数値条件)を示す指標になりま  
す。

他にも目に付く数値に記しを入れるかノートに記録します。

例えば、つい最近まで  $[12] \wedge [11]$  は負の数値で歪みを示していました。

$F6 \wedge F5$  はマトリックスの中で通常最も小さい値なので私のグループではいつもマークしています。

私たちのグループの成功はその数値を徹底的に利用して実行した保守的なハンドのオペレーショ  
ンの積み重ねでした。その成功の基礎(土台)から多くのタイプのハンドを手がけて進んで行きました。  
その名残もあり、マトリックスを見る時に私自身ははじめに  $F6 \wedge F5$  に目が行く嫌いがあります。  
そして、 $F6 \wedge F5$  と同等かそれより小さい数値が他にあるならそれを攻略したいと考えます。

$[12] \wedge [11]$  が最近までまさにそのような数値でした。

マトリックスの次にバリューチェーンをみます。

バリューチェーンはマトリックスと深く繋がっています。

バリューチェーンの数字の配列をよくご覧ください。

最初に着目すべき数字は

数学的原理(ゆかり) についての理解を深める こと。 → 一方で、ロ-チ-の前提に F2 を 見よ。 →  $F2 \wedge F1$  は数値の循環性/ 連続性を見る上で重要で可。

